

地理歴史科（日本史探究）学習指導案

1 単元名 幕藩体制の動揺

「C 近世の日本と世界」の「(3) 近世の国家・社会の展望と画期」を想定して作成

2 単元目標

- (1) 産業の発達、飢饉や一揆の発生、幕府政治の動揺と諸藩の動向、学問・思想の展開、庶民の生活と文化などを基に、幕藩体制の変容、近世の庶民の生活と文化の特色、近代化の基盤の形成を理解する。
- (2) 近世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを、根拠を示して表現する。
- (3) 社会・経済の仕組みと変化、幕府や諸藩の政策の変化、国際情勢の変化と影響、政治・経済と文化との関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを、根拠を示して表現する。
- (4) 近世の国家・社会の展開について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする態度を養う。

3 単元計画(全体9時間)

(1) 指導計画

- ・幕政の改革 2時間
- ・宝暦・天明期の文化 1時間
- ・幕府衰退と近代への道 4時間
- ・化政文化 1時間
- ・幕藩体制崩壊の要因 1時間（本時）

(2) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・産業の発達、飢饉や一揆の発生、幕府政治の動揺と諸藩の動向、学問・思想の展開、庶民の生活と文化などを基に、幕藩体制の変容、近世の庶民の生活と文化の特色、近代化の基盤の形成を理解している。	・近世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを、根拠を示して表現している。 ・社会・経済の仕組みと変化、幕府や諸藩の政策の変化、国際情勢の変化と影響、政治・経済と文化との関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを、根拠を示して表現している。	・近世の国家・社会の展開について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

(3) 指導内容及び評価計画

(○…「評定に用いる評価」、●…「学習改善につなげる評価」)

次	学習内容	ねらい・学習活動	評価の観点			(B)具体的な評価規準 (C)具体的支援	評価方法
			知	思	態		
第1次 (2)	【学習課題】<単元を貫く問い>「幕藩体制（江戸幕府）の崩壊に最も影響を与えた要因は何か」					(B) 諸資料から改革や諸政策の背景を調べまとめている。 (C) 教科書からそれぞれの諸改革の内容について理解させる。	ワークシート①
	・幕政の改革	・両改革の財政再建の考え方を比較し、享保の改革と田沼政治の内容を理解する。	●				
第2次 (1)	【学習課題】<問い>「文化の発展が幕藩体制の動揺に関わっているのか」			●		(B) 文化の発達が幕藩体制と関連付けて考察している。 (C) 教科書や資料集を再確認させる。	Microsoft Teams

次	学習内容	ねらい・学習活動	評価の観点			(B) 具体的な評価規準 (C) 具体的支援	評価方法
			知	思	態		
第3次 (4)	【学習課題】<問い><<例>>「国際情勢や雄藩は江戸幕府の衰退にどのように関わっているのだろうか」		●			(B) 寛政の改革に至る時代背景や改革の内容を理解している。 (C) 教科書からそれぞれの諸改革の内容について理解させる。	ワークシート②
	・幕府の衰退と近代への道 ・寛政の改革	・寛政の改革の時代背景や改革の内容を理解する。					
	・鎖国の動揺	・当時の国際情勢から日本にどのような対応が迫られていたのか考察する。			●	(B) 当時の日本を取り巻く国際情勢やその流れを理解している。 (C) 教科書から当時の国際情勢について理解させる。	
	・大御所時代・天保の改革	・天保の改革の時代背景や改革の内容を理解する。	○			5 (1) 参照	ワークシート③
	・朝廷と雄藩の浮上	・西南雄藩の諸改革の内容を理解し、成功の要因と幕府と藩の関係性について考察する。	●			(B) 西南雄藩の諸改革の内容を理解している。 (C) 教科書からそれぞれの諸改革の内容について理解させる。	
第4次 (1)	【学習課題】<問い><<例>>「江戸後期にはどのような思想や文化が広まっていたのか」					(B) 江戸後期に広まっていた社会思想や文化から当時の時代背景を理解している。 (C) 資料の内容確認	Microsoft Teams
	・化政文化	・『経済禄』『稽古談』『都鄙問答』などの資料を読みとき、資料から当時の社会思想や文化を理解し、時代背景を考察する。			●		
第5次 (1)	【学習課題】<単元を貫く問い><<例>>「幕藩体制（江戸幕府）の崩壊に最も影響を与えた要因は何か」						ワークシート④
	・幕藩体制の動揺の要因 ・単元のまとめ ・単元の振り返り	【ねらい】江戸幕府が衰退する当時の国内や海外情勢、文化や都市民衆の生活文化などをまとめるとともに、「単元を貫く問い」への仮説を、学習成果を踏まえて考え、学習を振り返る。 ・幕府衰退の要因についてさまざまな資料を基に考察し、表現する ・前単元の内容も踏まえて近世の特色について考察し、表現する。		○	○	5 (2) 参照 5 (3) 参照 5 (4) 参照	ワークシート④ ワークシート④ 学習記録

4 本時の指導と評価の計画

(1) 本時の目標

幕藩体制の動揺の要因について、近世の社会情勢から多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期について、根拠を示して表現する。

(2) 本時の展開

(○…「評定に用いる評価」、●…「学習改善につなげる評価」)

	学習内容	学習活動	指導上の留意点・評価
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・近世の内容の復習 ・本時の授業内容の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の授業内容について理解する。 	
展開	<ul style="list-style-type: none"> ・幕藩体制の動揺の要因の考察 ・考察した内容の意見交換 ・幕藩体制のまとめ ・近世のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・幕藩体制(江戸時代)の崩壊に最も影響を与えた要因について個人で考察する。 ・グループ内で各自の仮説を発表し、他者と意見交換することで多面的・多角的な視点を持ち、考えを深める。 ・自身の仮説から結論をまとめ、表現する。 ・近世の特色について考察し、表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ多くの意見と触れ合うように班編成する。 ○ワークシート 【思】 ○ワークシート 【思】
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・ふりかえり 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習記録用紙を完成させ、提出する。 	○学習記録用紙【態】

(3) 本時の評価規準 5 (2) (3) (4) 参照

5 評価問題(評価材料)及び評価規準

(1) ワークシート③の評価規準【知識・技能】

享保の改革, 田沼政治, 寛政の改革, 天保の改革の諸改革について理解している。

ワークシート③の設問

享保の改革, 田沼政治, 寛政の改革, 天保の改革の諸改革について, 重点項目や共通点や相違点をまとめよ。

ワークシート③の判断基準

「おおむね満足できる」状況(B)と判断される例
・諸改革の内容について理解し, 共通点や相違点を説明している。
「十分満足できる」状況(A)と判断される例
・諸改革の内容について理解し, 共通点や相違点だけでなく, 時代背景や関連性まで説明している。
「努力を要する」状況(C)と判断される例とその生徒への支援
・諸改革の内容について理解できていない。
→教科書で諸改革の内容を理解させる。

(2) ワークシート④の評価基準【思考・判断・表現】

幕藩体制の変容を踏まえ, 江戸幕府衰退の要因について多面的・多角的に考察している。

ワークシート④の設問(まとめの文章を評価)

あなたは, 幕藩体制(江戸時代)が崩壊する要因として, いちばん影響の大きかった出来事は何かと思うか。それはなぜか。根拠も踏まえて説明せよ。

ワークシート④の判断規準

「おおむね満足できる」状況(B)と判断される例
・江戸幕府衰退の要因について仮説を立てて考察し, 根拠を基に自己の考えを表現している。
「十分満足できる」状況(A)と判断される例
・江戸幕府衰退の要因について仮説を立てて考察し, 根拠を基に自己の考えを多面的・多角的な視野で表現している。
「努力を要する」状況(C)と判断される例とその生徒への支援
・幕藩体制の変容について理解できていない。
→幕政の改革や文化, 当時の国際情勢や諸藩の動向などについて理解させる。

(3) ワークシート④の評価規準【思考・判断・表現】

近世の特色について多面的・多角的に考察し、表現している。

ワークシート④の設問

今まで学習した近代日本や世界の国（社会）の在り方と比べて、近世の特徴は何か。
--

ワークシート④の判断基準

「おおむね満足できる」状況（B）と判断される例
・近世の特色について多面的・多角的に考察し、自分の言葉で表現している。
「十分満足できる」状況（A）と判断される例
・近世の特色について多面的・多角的に考察し、近代の在り方と比較して表現している。
「努力を要する」状況（C）と判断される例とその生徒への支援
・近世の特色について理解できていない。 →織豊政権、江戸幕府について問いかけを行う。

(4) 学習記録の評価規準【主体的に学習に取り組む態度】

幕藩体制の動揺について、学んだ内容を整理し、表現している。

学習記録の設問

学習した内容、印象に残ったこと、疑問に思ったこと

学習記録の判断基準

「おおむね満足できる」状況（B）と判断される例
・幕藩体制の動揺について、学んだ内容を整理し、自分の言葉で表現している。
「十分満足できる」状況（A）と判断される例
・幕藩体制の動揺について、学んだ内容を整理し、自分の言葉で表現し、新たな疑問等への学びを深めようとしている。
「努力を要する」状況（C）と判断される例とその生徒への支援
・幕藩体制の動揺について、学んだ内容を整理できていない。 →諸改革や文化など授業内容について問いかけを行う。

6 成果と課題

(1) 成果

江戸時代における画期や単元の最後に「近世」という時代をどのように捉えているかを考察するに当たり、「近代」と比較する視点を加えることで、「歴史総合」で行われる近代以降の学習と関連付けることを意識し、異なる視点から多面的な見方ができたように感じた。日本史Bにおける「古代」から「大正時代」までの学習が終了したタイミングで本単元の実践を行ったため、生徒は既習内容を活用していた。時代区分を考察したり、時代についての評価を行ったりする際に、問いを投げかけるタイミングを変えることによって、捉え方に変化が生じ、学びの深まりや変容に違いが見られるのではないかと思える場面があったので、同じ問いを異なるタイミングで投げかける工夫を今後の授業実践でも取り入れていきたいと思った。

また一部のクラスでは、時間短縮のためにグループ学習でジグソー法を活用した学習活動を取り入れた。この学習方法は、生徒が正しい情報を把握できているのかという課題は残るものの、知識伝達型・一方通行の授業に陥りがちな歴史科目の授業でも、タブレット端末を活用して、資料や情報にアクセスして、情報を整理することができ、ただ単に聞いているだけの授業よりも気付きが多く、生徒によってはより関心のある事柄について調べていく様子など、内発的な動機付けで歴史学習を進めていく姿が見られ、今後もこの手法を活用していきたいと思う。

(2) 課題

本単元案では資料の読み取りに多くの時間を費やし、時代全体をどのように捉えるかという考察部分に十分に時間を配分することができなかった。多くの資料に触れて、資料から考察することができるように資料の精選や授業展開を工夫していきたいと感じた。

次に、内容のまとめから授業を計画していくと、授業展開や評価の時期・評価問題などの授業者のねらいが定まってくる。しかし問いかげや資料の選定・提示など、扱う内容によっては、生徒の考察を誘導しているように感じられるところもあったので、生徒の資質・能力の向上に重きを置いた単元目標やより明確な評価規準を設定していく必要があるように感じた。

7 参考文献

- ・『江戸500藩全解剖 関ヶ原の戦いから徳川幕府、廃藩置県まで』（河合敦 朝日新書 2022年）
- ・『概論日本歴史』（佐々木潤之介他 吉川弘文館 2006年）
- ・『近世史講義』（高埜利彦 ちくま新書 2020年）
- ・教科書『詳説 日本史』（山川出版社）
- ・教科書『詳説 日本史』（山川出版社）
- ・教科書『改訂版精選日本史資料集』（第一学習社）
- ・副教材『新詳日本史』（浜島書店）